



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 I D E C株式会社
 コード番号 6652 URL http://jp.idec.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 船木 俊之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理担当 (氏名) 西山 嘉彦 TEL 06-6398-2500
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,837	△12.3	845	△23.0	806	△23.4	570	△34.1
2020年3月期第1四半期	14,637	△5.5	1,098	△30.3	1,053	△34.4	864	△40.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △136百万円 (ー%) 2020年3月期第1四半期 △6百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	18.63	18.63
2020年3月期第1四半期	26.91	26.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	87,308	40,123	45.9
2020年3月期	87,025	42,788	49.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 40,055百万円 2020年3月期 42,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 2021年3月期の第2四半期末及び期末の配当金は未定です。
 詳細は、本日公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△14.3	2,500	△46.9	2,400	△48.0	1,600	△46.8	53.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	33,224,485株	2020年3月期	33,224,485株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,075,350株	2020年3月期	1,940,630株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	30,618,695株	2020年3月期1Q	32,143,320株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 連結業績概要	10
(2) 製品別売上高	10
(3) 販売地域別売上高	10
(4) 受注実績	11
(5) キャッシュ・フローの状況	11
(6) 設備投資額	11
(7) 減価償却費	11
(8) 研究開発費	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染拡大による全世界的な経済の低迷の影響を受けて、当社グループの主要顧客である製造業の設備投資需要が、デジタル機器・半導体関連業界の一部を除き極めて低調に推移しました。

このような状況の中、当社グループにおいては、国内では半導体関連業界向けなどのシステム関連製品が伸長しましたが、自動車関連業界や工作機械・ロボット業界における需要が大幅に減少したことから、主力のスイッチ事業及びオートメーション事業／センシング事業を中心に売上が減少した結果、国内売上高は57億3千2百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

海外においては、米州及びEMEAにおける新型コロナウイルスの感染拡大による経済の低迷の影響がより深刻で、大幅に売上が減少した一方で、アジア・パシフィックにおいては特に中国での需要が急速に回復し、地域別売上ではアジア・パシフィックは前年同期を上回りました。以上の結果、海外売上高は71億5百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

利益面におきましては、主に売上高が減少したことによりそれぞれ、営業利益は前年同期に比べ、2億5千2百万円減益の8億4千5百万円（前年同期比23.0%減）となり、経常利益は前年同期に比べ、2億4千6百万円減益の8億6百万円（前年同期比23.4%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ、2億9千4百万円減益の5億7千万円（前年同期比34.1%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における対米ドルの平均レートは、107.63円（前年同期は109.90円で2.27円の円高）、対ユーロの平均レートは、118.58円（前年同期は123.50円で4.92円の円高）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

（セグメント別の業績）

【日本】

日本においては、半導体関連業界向けなどのシステム関連製品が伸長しましたが、自動車関連業界や工作機械・ロボット業界における需要が大幅に減少したことから、主力のスイッチ事業及びオートメーション事業／センシング事業を中心に需要が低調であった結果、売上高は、前年同期に比べ、9億4千4百万円減収の63億3千1百万円（前年同期比13.0%減）となり、営業利益は、前年同期に比べ、3千8百万円減益の4億7千7百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

【米州】

北米地域においては、新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウン等の影響もあり、需要は総じて低調であったことに加え円高の影響も受けた結果、売上高は、前年同期に比べ、4億8千6百万円減収の20億3百万円（前年同期比19.5%減）となり、営業利益は、前年同期に比べ、9千7百万円減益の4千9百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

【ヨーロッパ、中東及びアフリカ（以下、EMEA）】

欧州においては、米州同様、新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウン等の影響もあり需要は総じて低調で、制御用操作スイッチなどスイッチ事業の売上が減少したことに加え円高の影響も受けた結果、売上高は、前年同期に比べ、6億5千1百万円減収の22億6千3百万円（前年同期比22.3%減）となり、営業損益は、前年同期に比べ、2億8千万円減益の8千1百万円の損失となりました。

【アジア・パシフィック】

アジア・パシフィック地域においては、中国での需要が急速に回復し、主力製品であるスイッチ事業の制御用操作スイッチやインダストリアルコンポーネンツ事業の制御用リレーの売上が増加した結果、売上高は前年同期に比べ、2億8千3百万円増収の22億3千8百万円（前年同期比14.5%増）となり、営業利益は、前年同期に比べ、2億3百万円増益の3億7千3百万円（前年同期比119.1%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の製品種類別の業績は次のとおりであります。

(製品種類別の売上高)

【スイッチ事業】

アジア・パシフィックにおいては中国において急速に需要が回復したものの、日本、米州、EMEAにおいて、景況感の悪化等の影響を受け、主に設備投資需要が減少した結果、売上高は、前年同期に比べ、8億8千9百万円減収の62億3百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

※HMI（Human Machine Interface：人と機械が触れ合う環境）の核となる、「制御用操作スイッチ」や「ジョイスティック」、「表示灯」などの製品群です。

【インダストリアルコンポーネンツ事業】

主力市場である米州での売上が減少した一方で、中国市場での制御用リレーの売上が増加した結果、売上高は、前年同期に比べ、8千2百万円減収と微減の24億9千1百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

※機械や生産ラインなどを制御・操作するための制御盤の中に組み込み、機械・装置の制御部分の基礎として使用される、「スイッチング電源」、「端子台」、「制御用リレー/ソケット」、「サーキットプロテクタ」などの製品群です。

【オートメーション事業/センシング事業】

日本において、前年同期に比べ自動認識機器の売上高が大幅に減少したことに加え、米州においては、プログラマブル表示器やプログラマブルコントローラの需要が減少した結果、売上高は、前年同期に比べ、4億8千1百万円減収の16億2千9百万円（前年同期比22.8%減）となりました。

※産業現場や暮らしのさまざまなシーンにおける機器の自動化に貢献する各種製品、機械・装置の頭脳の役割をする「プログラマブルコントローラ」や、快適な機械・装置の操作環境を実現する「プログラマブル表示器」に加え、リテールや物流分野などさまざまな分野で活用されている「自動認識機器」などの製品群です。

【安全・防爆事業】

国内外ともに景況感悪化の影響はあったものの、売上高は、前年同期に比べほぼ横ばいの1千万円増収の15億9千5百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

※産業現場の安全を守る「安全スイッチ」や「イネーブル装置」といった「安全関連機器」に加え、石油・化学プラントなど、爆発性のガスが存在する現場での事故を未然に防ぐ「防爆関連機器」などの製品群です。

【システム】

日本において、デジタル機器・半導体業界等の需要回復を受け、半導体・液晶製造装置用等の制御盤の売上が増加したことにより、売上高は、前年同期に比べ、7千3百万円増収の6億8千4百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

※顧客ニーズに合わせてI D E Cの製品をシステム化してご提供する「各種システム」などの製品群です。

【その他】

日本において、メガソーラーや太陽光発電用電力マネジメントシステムの売上が大幅に減少した結果、売上高は、前年同期に比べ、4億3千万円減収の2億3千4百万円（前年同期比64.8%減）となりました。

※I D E Cの強みである安全関連機器・安全技術を組み合わせて最適なシステムを構築する「協働ロボットシステムソリューション」や、メガソーラーや太陽光発電用電力マネジメントシステムをはじめとする「再生可能エネルギー事業」に加え、太陽光併用型農業プラントのトータルソリューションを提供する「次世代農業ソリューション」、幅広い分野での応用研究が進んでいる「ウルトラファインバブル（微細気泡）発生装置」などの事業や製品群です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産の額は、前連結会計年度末より2億8千3百万円増加し、873億8百万円となりました。これは主に、商標権、顧客関連資産及びのれん等の無形固定資産が主に償却により9億7百万円減少したものの、現金及び預金が借入等により11億9百万円増加したことによるものです。

負債の額は、前連結会計年度末より29億4千8百万円増加し、471億8千5百万円となりました。これは主に、流動負債が7億6千5百万円減少した一方で、借入金が37億7千7百万円増加したことによるものです。

純資産の額は、自己株式が取得により17億4千6百万円増加（純資産の減少）したことに加え、為替換算調整勘定が7億1千7百万円、利益剰余金が2億1千1百万円減少したことにより、前連結会計年度末より26億6千5百万円減少し、401億2千3百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より11億9百万円増加し、151億3百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億6千8百万円の収入となりました。これは主に、法人税等を4億7百万円納付、未払費用が3億8千3百万円減少した一方で、減価償却費を7億3千6百万円計上したことと、税金等調整前四半期純利益の計上9億6千7百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億4千1百万円の支出となりました。これは主に、投資有価証券を売却したことによる収入1億8千3百万円があった一方で、固定資産の取得により7億2千万円、有価証券の取得により3億2千2百万円支出したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、11億9千3百万円の収入となりました。これは主に、自己株式を17億6千万円取得したことと、配当金の支払いにより7億5千万円の支出があった一方で、借入金による増加37億7千7百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年5月22日付「2020年3月期 決算短信」においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報をもとに算定いたしました。

詳細は、本日公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,993	15,103
受取手形及び売掛金	9,598	8,938
有価証券	1,305	1,616
商品及び製品	6,589	6,436
仕掛品	1,133	1,351
原材料及び貯蔵品	4,325	4,340
その他	1,300	1,775
貸倒引当金	△52	△52
流動資産合計	38,193	39,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,711	7,623
機械装置及び運搬具(純額)	3,076	3,030
工具、器具及び備品(純額)	1,410	1,322
土地	6,329	6,326
リース資産(純額)	259	291
使用権資産(純額)	1,033	941
建設仮勘定	1,036	1,474
有形固定資産合計	20,855	21,009
無形固定資産		
商標権	2,535	2,440
顧客関連資産	8,139	7,825
ソフトウェア	1,094	1,076
リース資産	9	6
のれん	12,514	12,038
その他	79	78
無形固定資産合計	24,373	23,465
投資その他の資産		
投資有価証券	684	666
長期貸付金	240	220
退職給付に係る資産	310	311
繰延税金資産	1,084	958
その他	1,319	1,203
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	3,602	3,323
固定資産合計	48,831	47,799
資産合計	87,025	87,308

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,005	3,459
電子記録債務	1,682	1,466
短期借入金	6,860	6,860
1年内償還予定の社債	10	10
1年内返済予定の長期借入金	9,838	9,683
リース債務	330	330
未払金	742	527
未払費用	2,906	2,505
未払法人税等	498	320
前受金	147	224
預り金	170	361
製品保証引当金	19	18
その他	1,028	706
流動負債合計	27,240	26,474
固定負債		
社債	15	15
長期借入金	10,995	14,927
リース債務	1,019	963
繰延税金負債	2,738	2,637
役員退職慰労引当金	32	33
退職給付に係る負債	1,689	1,675
資産除去債務	216	218
持分法適用に伴う負債	113	64
その他	175	174
固定負債合計	16,996	20,710
負債合計	44,236	47,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,056	10,056
資本剰余金	9,219	9,215
利益剰余金	26,804	26,592
自己株式	△3,309	△5,055
株主資本合計	42,771	40,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266	268
為替換算調整勘定	△302	△1,019
退職給付に係る調整累計額	△10	△2
その他の包括利益累計額合計	△46	△753
新株予約権	63	68
純資産合計	42,788	40,123
負債純資産合計	87,025	87,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	14,637	12,837
売上原価	8,364	7,430
売上総利益	6,272	5,407
販売費及び一般管理費	5,174	4,561
営業利益	1,098	845
営業外収益		
受取利息	17	11
受取配当金	3	3
持分法による投資利益	20	42
為替差益	—	98
デリバティブ評価益	94	—
その他	34	25
営業外収益合計	170	181
営業外費用		
支払利息	47	42
デリバティブ評価損	—	115
為替差損	131	—
減価償却費	5	4
その他	31	58
営業外費用合計	215	220
経常利益	1,053	806
特別利益		
固定資産売却益	5	0
投資有価証券売却益	238	162
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	244	163
特別損失		
減損損失	3	—
固定資産廃棄損	0	1
事業所移転損失	49	—
特別損失合計	53	1
税金等調整前四半期純利益	1,245	967
法人税、住民税及び事業税	363	322
法人税等調整額	16	74
法人税等合計	380	397
四半期純利益	864	570
親会社株主に帰属する四半期純利益	864	570

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	864	570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△109	1
為替換算調整勘定	△772	△717
退職給付に係る調整額	10	8
その他の包括利益合計	△871	△707
四半期包括利益	△6	△136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6	△136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月19日開催の取締役会決議に基づき、2020年4月1日以降、自己株式1,143,200株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,746百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が5,055百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税金引当当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結財務諸表計上額
	日本	米州	EMEA	アジア・パシフィック	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,275	2,490	2,914	1,955	14,637	—	14,637
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,599	111	462	1,135	3,309	△3,309	—
計	8,875	2,602	3,377	3,091	17,947	△3,309	14,637
セグメント利益	516	146	198	170	1,032	65	1,098

(注) 1. セグメント利益の調整額65百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結財務諸表計上額
	日本	米州	EMEA	アジア・パシフィック	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,331	2,003	2,263	2,238	12,837	—	12,837
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,536	96	300	1,275	3,208	△3,208	—
計	7,868	2,100	2,563	3,513	16,045	△3,208	12,837
セグメント利益又は損失(△)	477	49	△81	373	819	26	845

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額26百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 連結業績概要

(単位：百万円、%)

	2020年3月期				2021年3月期			
	第1四半期	前年同期比	通期	前年比	第1四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
売上高	14,637	94.5	58,355	93.0	12,837	87.7	50,000	85.7
営業利益	1,098	69.7	4,704	82.1	845	77.0	2,500	53.1
経常利益	1,053	65.6	4,613	78.9	806	76.6	2,400	52.0
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	864	59.9	3,006	81.2	570	65.9	1,600	53.2

(2) 製品別売上高

(単位：百万円、%)

	2020年3月期				2021年3月期			
	第1四半期	前年同期比	通期	前年比	第1四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
スイッチ事業	7,093	91.6	27,329	92.1	6,203	87.5	24,100	88.2
インダストリアルコン ポーネンツ事業	2,573	88.3	10,339	90.3	2,491	96.8	9,300	89.9
オートメーション事業 /センシング事業	2,110	105.6	8,958	102.3	1,629	77.2	7,100	79.3
安全・防爆事業	1,584	99.4	6,657	96.0	1,595	100.7	6,000	90.1
システム	610	77.4	2,901	88.5	684	112.1	2,300	79.3
その他	664	145.6	2,169	81.5	234	35.2	1,200	55.3
合計	14,637	94.5	58,355	93.0	12,837	87.7	50,000	85.7

(3) 販売地域別売上高

(単位：百万円、%)

	2020年3月期				2021年3月期			
	第1四半期	前年同期比	通期	前年比	第1四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
国内売上高	6,646	96.5	28,032	95.4	5,732	86.2	23,200	82.8
海外売上高								
米州	2,403	93.0	9,203	92.9	1,971	82.0	—	—
EMEA	2,927	113.3	10,276	93.3	2,257	77.1	—	—
アジア・ パシフィック	2,659	77.3	10,841	87.0	2,876	108.2	—	—
海外売上高 計	7,990	92.8	30,322	90.8	7,105	88.9	26,800	88.4
合計	14,637	94.5	58,355	93.0	12,837	87.7	50,000	85.7

(4) 受注実績

(単位：百万円、%)

	2020年3月期第1四半期				2021年3月期第1四半期			
	受注高	前年同期比	受注残高	前年比	受注高	前年同期比	受注残高	前年比
日本	7,225	95.2	4,569	74.5	6,023	83.4	3,528	77.2
米州	2,356	89.1	1,471	105.9	2,135	90.7	1,466	99.7
EMEA	2,662	81.4	3,535	99.9	2,652	99.6	3,438	97.3
アジア・パシフィック	2,116	85.3	1,833	62.2	2,052	97.0	1,914	104.4
合計	14,360	89.8	11,410	81.5	12,863	89.6	10,348	90.7

(5) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2020年3月期				2021年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	688	2,918	1,225	2,095	768	—	—	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△543	△170	△626	△696	△841	—	—	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,026	△389	△1,720	△468	1,193	—	—	—
現金及び現金同等物期末残高	11,801	14,069	13,032	13,993	15,103	—	—	—

(6) 設備投資額

(単位：百万円、%)

	2020年3月期				2021年3月期			
	第1四半期	前年同期比	通期	前年比	第1四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
連結	874	94.8	2,673	64.8	781	89.3	3,200	119.7

(7) 減価償却費

(単位：百万円、%)

	2020年3月期				2021年3月期			
	第1四半期	前年同期比	通期	前年比	第1四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
連結	750	120.3	3,016	111.7	736	98.2	3,100	102.8

(8) 研究開発費

(単位：百万円、%)

	2020年3月期				2021年3月期			
	第1四半期	売上比	通期	売上比	第1四半期	売上比	通期予想値	売上比
連結	647	4.4	2,325	4.0	470	3.7	2,000	4.0